

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	908 消防団管理運営事業									
戦略プラン					担当部課	消防本部地域消防課				
総合戦略	IV	2	(1)	災害に強いまちづくりの推進	係名	消防団係				
					新規・継続	継続				
					事業分類	法定事務				
予算科目	01-090102-11 非常備消防運営に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間		<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画						
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行				
						<input type="checkbox"/> 評価・検証				
根拠法令	消防組織法				事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
つくば市消防団の円滑な運営を図り、市民の安全・安心に寄与するため。					・消防団員の名簿管理、福祉共済、報酬、出動手当等の事務を実施する。					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 消防団員確保のためのポスター掲示やパンフレットの配布を実施 消防団員報酬の支払い（10月、4月） 退職報償金の支払い（9月：69名分） 出場手当及び車両点検支払い（7月、10月、1月、4月） 消防団員サポート事業所を現在の37事業所から10事業所増加を目標に、広報誌やホームページ等で募集 					<ul style="list-style-type: none"> 各支団役員会にて、団員募集ポスター等を各分団長へ配布し、協力店舗や詰所等に掲示を依頼（4月） 消防団員報酬の支払いを実施（上半期：10月支払、下半期：4月支払） 退職報奨金の支払いを実施（69名分） 出場手当及び車両点検手当等の支払いを実施（7月、10月、1月、4月） 消防団員サポート事業所を増加させるために、商工会でのチラシ配布やホームページ等で募集を実施（7月、11月） 					
成果					課題					
消防団員サポート事業所は、37事業所から43事業所に増加した。					消防団の充実・強化を図るため、各種事業を展開し、団員の確保に努めているが、近年の社会情勢の変化に伴い、毎年減少している。					
改善目標（R02年度にむけて）										
<p>団員数が減少傾向となっており、まだまだ団員の確保が困難な状況にあるので、消防団の重要性や必要性を広く認識してもらうため、PR活動を継続して行う。</p> <p>また、消防団員サポート事業所の増加に向け、募集活動を行っていく。</p>										
指標の推移										
1	指標名	消防団員数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0		
	実績	1,192.0	1,132.0	1,095.0	1,065.0	1,088.0	1,049.0	0.0		
	指標の概要	6支団（女性分団含む）								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	19,569	27,354	0	0
	一般財源	(千円)	117,271	81,336	0	0
事業費計		(千円)	136,840	108,690	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.20		
		時間外勤務 (時間)	180.00	180.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,504	8,916		
事業コスト		(千円)	144,344	117,606		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	14,192	13,938	0	0
事業費計		(千円)	14,192	13,938	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.50	1.70		
		時間外勤務 (時間)	560.00	500.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	11,976	13,238		
事業コスト		(千円)	26,168	27,176		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	648	540	0	0
事業費計		(千円)	648	540	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,412	1,412		
事業コスト		(千円)	2,060	1,952		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	27,600	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	14,733	22,803	52,511	52,511
事業費計		(千円)	42,333	22,803	52,511	52,511
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.80		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,529	5,646		
事業コスト		(千円)	45,862	28,449		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ■ 需用費：現場作業用消耗品 57千円 ■ 光熱水費：電気料・上水道使用料等 4,224千円 ■ 修繕料：施設修繕料 1,820千円 ■ 役務費：携帯電話料等 401千円 ■ 委託料：消防団詰所建築工事設計委託料等 2,772千円 ■ 使用料及び賃借料：土地賃借料 465千円 ■ 工事請負費：消防団車庫・詰所建築工事 30,162千円 消防施設改修工事 3,500千円 消防施設解体撤去工事 8,910千円 ■ 補助金：消防用施設整備補助金 200千円 					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	31,400	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	15,224	41,265	46,704	0
事業費計		(千円)	46,624	41,265	46,704	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.70		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,529	4,940		
事業コスト		(千円)	50,153	46,205		

R02年度当初積算根拠	■旅費：中間検査（往復運賃33,150円＋宿泊費12,000円）×1人＝45,150円
	■需用費：@自動車用消耗品 179千円 @燃料費 1,261千円
	■修繕料：@公用車修繕料 1,650千円 @車検整備料等 4,868千円
	■役務費：自賠責保険料等 1,272千円
	■使用料及び賃借料：バンリース料 316千円
	■備品購入費：消防ポンプ車2台 35,420千円 発電機1台 154千円
	■公課費：自動車重量税等 1,538千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	914 水防訓練(水害対策) 事業									
戦略プラン					担当部課 係名	消防本部地域消防課 消防団係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	法定+任意				
予算科目	01-090104-11 水防訓練に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間		<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画						
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行				
						<input type="checkbox"/> 評価・検証				
根拠法令	水防法				事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
水防活動において、消防団員が安全に迅速かつ確かな行動がとれるようにする。					・水防訓練への参加及び水防団体との連絡調整を行う。					
評価										
事業計画					活動実績					
5月 利根川水系県南水防事務組合、稲敷地方広域市町村圏事務組合の二組合による水防訓練に参加（龍ヶ崎市で実施予定）					・利根川水系県南水防事務組合、稲敷地方広域市町村圏事務組合の二組合による水防訓練が、5月19日に龍ヶ崎市で実施し、桜・茎崎支団（39名）が参加 ・鬼怒・小貝水防連合体水防訓練が7月7日に常総市で実施し、大穂・豊里・筑波支団（61名）が参加。					
7月 鬼怒・小貝水防連合体水防訓練に参加（常総市で実施予定）										
成果					課題					
2つの水防訓練に参加し、各種水防工法の技術を習得したことにより、水防団として士気の向上及び消防力の強化に繋がった。					水防訓練は、参加人数に制限があり。すべての団員が参加できないため、参加できない団員を対象とした勉強会等を開催し、全団員へ水防工法等の知識を伝えていく必要がある。					
改善目標（R02年度にむけて）										
各支団役員会等で、各分団の訓練経験者による勉強会を、継続して実施するように依頼する。										
指標の推移										
1	指標名	訓練参加者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
	実績	66.0	182.0	160.0	95.0	96.0	80.0	0.0		
	指標の概要	利根川水系県南水防事務組合水防訓練、鬼怒・小貝水防連合体水防訓練								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,000	2,147	0	0
事業費計		(千円)	2,000	2,147	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.40		
		時間外勤務 (時間)	10.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,143	2,848		
事業コスト		(千円)	4,143	4,995		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	7,600	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	37,251	77,006	80,849	0
事業費計		(千円)	44,851	77,006	80,849	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,057	6,783		
事業コスト		(千円)	51,908	83,789		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ■ 需用費：水利標識等 110千円 ■ 委託料：飲料水兼用防火水槽清掃委託 537千円 耐震性貯水槽設計委託料 1,012千円 ■ 土木工事：防火水槽改修工事 16,986千円 耐震性貯水槽建設工事 23,188千円 ■ 備品購入費：消火栓BOX等 110千円 ■ 負担金：消火栓維持管理費負担金 15,916千円 消火栓新設工事負担金 22,990千円

予算の方向性	理由	整備計画に基づき、進めていく。
維持		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		